

第34回“木材の実用知識”講習会開催のお知らせ
どうする公共建築
—木材利用のポイントと具体策—

最近、公共建築への木材利用促進法が施行（平成22年10月）され、公共建築以外の住宅や事務所等の一般建物への波及効果と併せて、国産材需要拡大へのカンフル剤になることが期待されています。一方で、地域における公共建築に向けての木材供給や流通、施工の効率化が求められ、公共建築を担う地域行政や木材産業、建築業の果たすべき役割はますます大きくなるものと思われまます。

そこで、講習会では、公共建築物への木材利用を進めるためのポイント、材料調達や積算のための構造設計とコストとの関係、これまでの具体的な公共建築への木材利用の取り組み事例、公共建築物向けの構造材の供給に必要なJAS認定の取り方などを知り、今後の公共建築への木材利用を具体的かつ効率的に進める方策について考えることにしました。

木材・木質材料の生産・流通に携わっておられる方々、地方公共団体の担当者の方々は勿論、林業、住宅分野、大学・試験研究機関の方々にも奮ってご参加いただきますようご案内申し上げます。

記

主 催: (社)日本木材加工技術協会

後 援: (社)全国木材組合連合会、(社)全国木工機械工業会、日本合板工業組合連合会、日本集成材工業協同組合、(社)日本木材保存協会、日本木材防腐工業組合、日本繊維板工業会、(財)日本住宅・木材技術センター

日 時: 平成23年2月18日(金) 10:50~17:10

場 所: 木材会館(〒136-0082 東京都江東区新木場1-18-8 TEL 03-5534-3111)

東京メトロ有楽町線、JR京葉線、りんかい線「新木場駅」下車 徒歩3分

(JR京葉線東京駅で乗車の場合、京葉線地下ホーム1~4番線で乗車、乗車時間10分程度)

受 講 料: 会員16,000円、非会員26,000円(テキスト、昼食代含む。後援団体の会員は、会員扱いと致します。また、今回入会者は会員扱いと致します。*)

定 員: 100名

※ 切 切: 平成23年2月10日(木)(定員に達し次第締め切らせていただきます。)

申込方法: 申込書にご記入の上、FAXにてお申し込み下さい。

受講料は下記口座へお払い込み下さるようお願いいたします。

【りそな銀行 茗荷谷支店 当座預金 0506059】

申 込 先: (社)日本木材加工技術協会

〒112-0004 東京都文京区後楽1-7-12 林友ビル

TEL:03-3816-8081 FAX:03-3816-7880 E-mail:kakou@jwta.or.jp

* 非会員の方は、この機会に是非当協会へご入会下さるようお願いいたします。ご入会いただける場合、非会員としてお支払いいただく金額で機関誌「木材工業」を毎月お送りします。

年会費：個人会員10,000円、団体会員20,000円、賛助会員45,000円

- プログラム： (敬称略)
- 10:50～11:00 開会挨拶 (社)日本木材加工技術協会会長 富田文一郎
- 11:00～12:00 公共建築への木材利用のポイントー材料調達から建築までー：
秋田県立大学 木材高度加工研究所 飯島泰男
- 12:00～13:00 昼 食
- 13:00～14:00 木造とRC造のコスト積算ー学校建築物ー：
(株)現代計画研究所 加来照彦
- 14:00～15:00 木造とRC造のコスト積算ー事務所用途建築物ー：
(株)ファインコラボレート研究所 望月伸一
- 15:00～15:10 休 憩
- 15:10～15:40 公共建築への木材利用の事例ー茂木中学校ー：
栃木県茂木町 小崎正浩
- 15:40～16:10 公共建築への木材利用の事例ー都幾川中学校ー：
埼玉県ときがわ町 伊得 浩
- 16:10～17:10 製材工場はJASの認定申請を進めよう
全国木材検査・研究協会 清水眞長

..... 切 取 線

(社)日本木材加工技術協会 宛
FAX 03-3816-7880

第34回木材の実用知識講習会申込書

受講者氏名	
勤務先	
勤務先所在地	〒 TEL FAX
会員、非会員の別	会 員 非会員 (どちらかを○で囲んで下さい)
新規入会の有無	あ り な し (どちらかを○で囲んで下さい)